

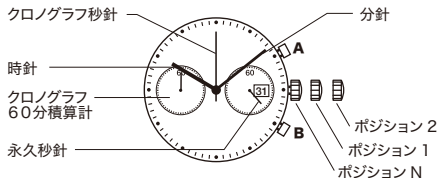


CONTENTS

6S21	p.1
6S30	p.2
VK61/64	p.3
YM8JA	p.4
YM26A	p.11
YM86A	p.14
NE57	p.19
NH35A	p.20
NH38	p.21
NH72	p.21
YN84/85	p.22
YN84GAZ/85GAZ	
YN85ENRGIA	
YN55	p.23
PX84A	p.24
VOSTOK EUROPE	p.27
スクリュードライバー付きマルチツール 六角ドライバーの使用方法	p.29



6S21



- 3針
- カレンダー表示
- クロノグラフ

ムーブメント：MIYOTA 6S21
クォーツ
バッテリー：SR927W

【時刻設定】

- 1-ネジを解放してリューズをポジション 2 まで引き出します。
- 2-時計回りに回転させてお好みの時間にセットします。
- 3-リューズをポジション N まで戻しネジを締めます。

【カレンダー設定】

- 1-リューズをポジション 1 まで引き出します。
- 2-時計回りに回転させてお好みの日付にセットします。
- 3-リューズをポジション N まで戻しネジを締めて完了です。

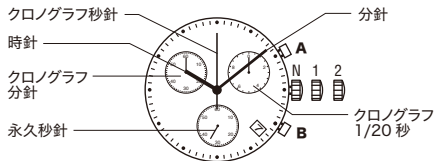
【クロノグラフ使用方法】

- 1-プッシュボタンAは、クロノグラフのスタート・ストップボタンにです。
- 2-クロノグラフをストップさせて、Bボタンを押すとゼロの位置にリセットします。

【クロノグラフリセット】※バッテリー交換後の作業

- 1-リューズをポジション 2 まで引き出します。
- 2-A ボタンを押すと秒針が1メモリ移動します。継続して押し続けると自動的に動きます。

6S30



- 3針
- カレンダー表示
- クロノグラフ

ムーブメント：MIYOTA 6S30
クォーツ
バッテリー：SR927W

【時刻設定】

- 1-リューズロックを左回転させ解除します。※ねじ込み式のみ
- 2-ポジション 2 まで引き出します。
- 3-時計回りに回転させお好みの時間に合わせます。
- 4-リューズをポジション N まで戻します。
- 5-リューズを優しく押しながら回転させロックします。

【カレンダー設定】

- 1-リューズロックを左回転させ解除します。
- 2-ポジション 1 まで引き出します。
- 3-時計回りに回転させ日付を設定します。

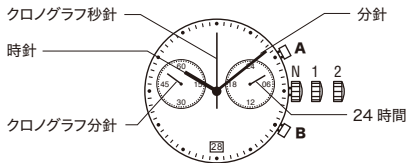
【クロノグラフ使用方法】

- 1-クロノグラフをスタート及びブストップするには、ボタン A を押します。
- 2-クロノグラフをストップさせた後にボタン B を押す事でゼロ位置へリセットすることができます。

【クロノグラフリセット】※バッテリー交換後の作業

- 1-リューズをポジション 2 にセットします。
 - 2-A ボタンを押す事で、秒針が1メモリ移動します。A ボタンを継続して押し続けると秒針が自動的に動き始めます。
- ① リューズ位置を変更せずに A ボタンを押し続けると故障の原因となります。

VK61/64



- 3針
- カレンダー表示
- クロノグラフ

ムーブメント：SEIKO VK61/64
クォーツ
バッテリー：SR936W

[時刻設定]

- 1-リューズをポジション2まで、引っ張り出します。
- 2-リューズを回し、AM・PMを正しく設定します。
- 3-リューズをポジションNまで、戻します。

[カレンダー設定]

- 1-リューズをポジション1まで、引っ張り出します。
- 2-リューズを回し、正しい日付に設定します。
- 3-リューズをポジションNまで戻します。

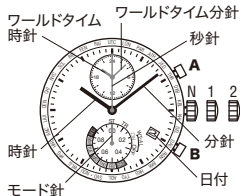
① PM9:00-AM3:00の間で日付を設定しないでください。故障の原因になります。

[クロノグラフ使用方法]

- ・ボタンAが、クロノグラフのスタートとストップボタンです。クロノグラフは、時間を計測する機能です。60分間経つとクロノグラフは、自動的に停止します。
- ・ボタンBは、クロノグラフをリセットします。クロノグラフ稼働時にも押すことができますが、機能はしませんが、何ら問題ありません。必ず下記の順でお使いください。

① 正しい使い方：ボタンA (スタート)→A (ストップ)→B (リセット)

YM8JA



- 3針
- カレンダー表示
- 曜日表示
- クロノグラフ
- ワールドタイム機能
- ストップウォッチ機能
- カウントダウンタイマー機能
- ワールドタイムアラーム機能

ムーブメント：Seiko E YM8J
クォーツ
バッテリー：SR927W

[リューズとボタンの操作]

	リューズ位置		
	N: ポジション N	1: ポジション 1	2: ポジション 2
リューズ	-	時計回しで日付変更	時刻設定
ボタン A	[*1]	[*2]	[*3]
ボタン B	[*1]	[*2]	曜日設定 [*3]

[*1] 各モードでのボタン操作 (リューズ位置 N: 通常位置)

表示	モード	ボタン A	ボタン B
曜日表示	ワールドタイム	都市表示 都市選択	モード切替 都市表示を行っているときは無効です。
ST	ストップウォッチ	スタート/ストップ	リセット スプリット/スプリット解除 モード切替 ストップウォッチで計測中は無効です。
TR	カウントダウンタイマー	スタート/ストップ	リセット モード切替 タイマーの作動中は無効です。
WT-AL	ワールドタイムアラーム	アラーム ON/OFF	モード切替

モードの切替順序：[曜日表示] → [ST] → [TR] → [WT・AL]

↑

[WT・AL] から [曜日表示] に切り替わる際にピープ音が鳴ります。

【*2】各モードでのボタン操作 (リュース位置 1: ポジション 1)

表示	モード	ボタン A	ボタン B
曜日表示	ワールドタイム	ホームシティ選択	ホームタイム設定
ST	ストップウォッチ	--	--
TR	カウントダウンタイマー	タイマーの時間設定 (反時計回り)	タイマーの時間設定 (時計回り)
WT-AL	ワールドタイムアラーム	アラームの都市選択	アラーム時刻設定

【*3】“0”位置への合わせ方 (リュース位置: ポジション 2)

リュースをポジション 2 に引き出します。



ボタン A を 5 秒以上押します。

ワールドタイム時計・分針が回り、“0”の位置に合わせることができるようになります。



ボタン B を押して “0” の位置に合わせます。



ボタン A を押します。

秒針が1周回り、“0”の位置に合わせることができるようになります。



ボタン B を押して “0” の位置に合わせます。



ボタン A を押します。

モード針が1周回り、“0”の位置に合わせることができるようになります。



ボタン B を押して “0” の位置に合わせます。



必要な場合、ここでボタン A を押すとこれらの手順をやり直すことができます。



リュースをポジション N に押し戻します。(“0”位置設定を完了するためです)



時刻と曜日を設定するために、リュースをポジション 2 に引き出します。
(ボタン B を押すことで曜日を調整できます。)

リュースをポジション 1 に引き出し、ホームタイムとホームシティを設定します。



リュースをポジション N に押し戻します。

【時刻設定】

1-リュースをポジション 2 に引き出します。

- ストップウォッチかカウントダウンタイマーを使用している際にリュースをポジション 2 に引き出すと、それらの機能は自動的にリセットされ、針は “0” 位置を指します。

- ワールドタイムがワールドタイムアラームを設定しているときにリュースをポジション 2 に引き出すと、ワールドタイム針は現在時刻を指します。

2-リュースを回して時針と分針を設定します。時針と分針を希望の時刻に合わせる際は、午前と午後があることに注意してください。

- 分針を調整する際は、希望の時刻より 5 分ほど進め、その後合わせたい時刻に戻してください。

3-リュースをポジション N に押し戻してください。

【カレンダー設定】

1-リュースをポジション 1 に引き出します。

2-リュースを回して日付を設定します。

- 午後 9 時から午前 1 時の間に日付設定をしないでください。

3-リュースをポジション N に押し戻してください。

参考: 午前と午後を誤って調整している場合、昼間に日付が変わります。その場合時針を 12 時間進めてください。

【ワールドタイム機能の使い方】

ワールドタイム
分針



- ・ 29 都市と UTC のタイムゾーンが表示されています。
- ・ リュースをポジション 1 に引き出してホームタイムを設定します。
ボタン A: ホームシティ選択
ボタン B: ホームタイム設定
(ホームタイムを中心の時針と分針の時刻に合わせます。)

■ワールドタイムの操作



ボタン A を 0.5 秒以上押すと都市針が現在設定している都市を指します。都市針が都市を指している間にボタン A を押して都市を選択します。

3 秒間ボタンを押さなかった場合、秒針に切り替わります。

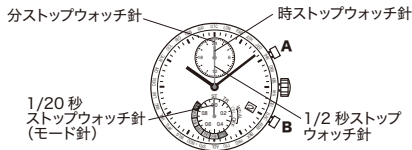
・都市一覧

29 都市のタイムゾーンと UTC が表示されています。
ダイヤルをデザインする際は、時差が変更されていないか確認する必要があります。

(下の表は 2014 年 4 月時点のものです)

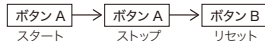
表示	都市	位置(秒)	表示	都市	位置(秒)
UTC	UTC	00	ADL	アデレード	30
LON	ロンドン	02	SYD	シドニー	32
PAR	パリ	04	.	アデレード(サマータイム)	33
ATH	アテネ	06	NOU	ヌーメア	34
JED	ジッダ	08	WLG	ウェリントン	36
THR	テヘラン	10	PPG	パゴパゴ	38
DXB	ドバイ	12	HNL	ホノルル	40
KBL	カブール	14	ANC	アンカレッジ	42
KHI	カラチ	16	LAX	ロサンゼルス	44
DEL	デリー	18	DEN	デンバー	46
DAC	ダッカ	20	CHI	シカゴ	48
RGN	ヤンゴン	22	NYC	ニューヨーク	50
BKK	バンコク	24	SCL	サンティアゴ	52
HKG	香港	26	RIO	リオデジャネイロ	54
TYO	東京	28	FEN	フェルナンド・デ・ノヴニャ諸島	56
			RAI	プライア	58

[ストップウォッチ機能の使い方]

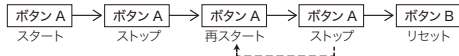


- ・ストップウォッチは 1/20 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 95 まで計測可能です。
- ・計測時間が 24 時間に到達すると、自動的に計測が停止します。
- ・ストップウォッチがスタートしてから 1 分経過すると、1/20 秒ストップウォッチ針は自動的に "0" の位置で停止します。計測を止めたり、スプリットタイムを計測すると、1/20 秒ストップウォッチ針は積算された値を表示します。
- ・1/20 秒ストップウォッチ針は 1 分間の計測が可能です。(1 秒 x 60 回)
- ・1/2 秒ストップウォッチ針は 24 時間の計測が可能です。(60 秒 x 1440 回)
- ・分ストップウォッチ針は 24 時間の計測が可能です。(60 分 x 24 回)
- ・時ストップウォッチ針は 24 時間の計測が可能です。

■通常の計測

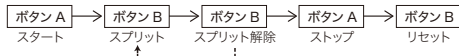


■計測時間の積算



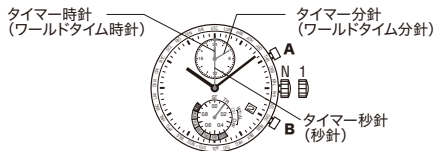
ボタン A を押すことで再スタートとストップを繰り返すことができます。

■スプリットタイム(途中経過)の計測



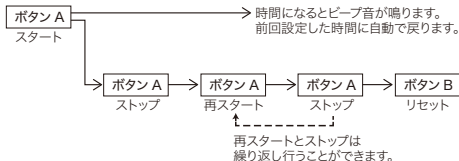
ボタン B を押すことでスプリットとスプリット解除を繰り返すことができます。

[カウントダウンタイマー機能の使い方]

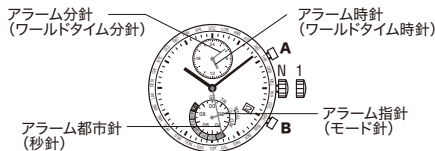


- ・カウントダウンタイマーは 24 時間の間で設定でき、ピープ音が鳴ります。
- ・タイマー針は反時計回りに回ります。
- ・使用前にタイマーを設定する必要があります。(初期設定は 10 分です。)
- ・リュースをポジション 1 に引き出してタイマーを設定します。
ボタン A : タイマーの設定 (反時計回り)
ボタン B : タイマーの設定 (時計回り)
- ・ピープ音はボタン A またはボタン B を押すことで止めることができます。

■カウントダウンタイマー機能



[ワールドタイムアラーム機能の使い方]



- ・アラームを設定することで、設定した都市の設定した時刻に、24 時間ごとにアラームを鳴らすことができます。
- ・ボタン A を押すとアラームの "ON" "OFF" を切り替えることができます。アラーム指針が "ON" を指すと音が鳴ります。
- ・リュースをポジション 1 に引き出して、アラーム都市とアラーム時刻を設定します。
ボタン A : アラーム都市設定
ボタン B : アラーム時刻設定
- ・ピープ音はボタン A またはボタン B を押して止めることができます。
- ・ストップウォッチかカウントダウンタイマーを使用中にアラーム音が鳴ると、計測表示は中断されます。
- ・アラームの鳴音中にボタンを押すとアラーム音を止めることができますが、その他の機能には無効です。(ただしストップウォッチ機能は操作されます。)

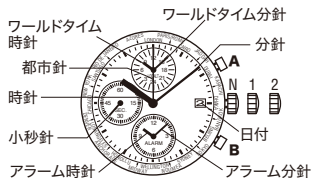
[電池の消耗を知らせる機能]

電池の電圧が低下すると秒針が通常の 1 秒運針から、2 秒運針に変わります。その場合できるだけ早く電池の交換を行ってください。
- 秒針が 2 秒運針になっても時刻精度は変わりません。

[システムリセット]

- 表示に異常が見られる場合、内蔵 IC をリセットします。
- 1-リュースをポジション 2 に引き出します。
 - 2-ボタン A とボタン B を同時に 2 秒以上押します。
 - 3-リュースをポジション N に押し戻します。

YM26A



- 3針
- カレンダー表示
- アラーム機能
- ワールドタイム機能

ムーブメント：
S.エプソン YM26
クォーツ
バッテリー：
SR927W

【リュースとボタンの操作】

	リュース位置		
	N: ポジション N	1: ポジション 1	2: ポジション 2
リュース	--	時計回りで日付変更	時刻調整
ボタン A	ワールドタイム都市設定 (時計回り)	音の確認 (2秒以上長押し)	[*1]
ボタン B	ワールドタイム都市設定 (反時計回り)	アラーム時刻設定 (6時位置の小时針)	[*1]

【*1】ワールドタイム針、アラーム針および都市針の位置調整

ワールドタイム針とアラーム針が現在時刻にあっていない場合、または都市針が“0”の位置にない場合、下記の手順に従って調整してください。

- (1) **リュースをポジション 2 に引き出します。**→ アラーム時刻設定をした状態で、リュースをポジション 2 に引き出すと、アラーム針が現在時刻を指します。
- (2) **アラーム針を調整します。**
ボタン B を押し、基本時計と同じ時刻にアラーム針を合わせます。
- (3) **都市針を調整します。**
ボタン A を 2 秒間押します。→ 都市針が 1 周回ります。
ボタン B を押し、現在時刻が分かる希望の都市に都市針を設定します。
(通常、お住まいの地域と同じタイムゾーンにある都市を選択します。)
- (4) **ワールドタイム針を調整します。**
ボタン A を 2 秒間押します。→ ワールドタイム時計針が 1 周分回ります。
ボタン B を押し、ステップ (3) で選択した都市の時刻を示すようにワールドタイム針を調整します。
- (5) **必要な場合、ここでボタン A を 2 秒間押すとこれらの手順をやり直すことができます。**
(5) **リュースをポジション N に押し戻します。**

参考: 針を調整する際に、ボタン B を長押しすることで針を早送りすることができます。

【時刻設定】

- 1- 一秒針が 12 時位置にあるときに、リュースをポジション 2 に引き出します。
- アラーム時刻設定をした状態で、リュースをポジション 2 に引き出すと、アラーム針が現在時刻を指します。
- 2- リュースを回して時計針と分針を調整します。時計針と分針を希望の時刻に合わせる場合、午前と午後があることに注意してください。
- このとき現在時刻より数分進んだ時刻に調整してください。アラーム針の調整やワールドタイム針と都市針位置の調整に数分時間がかかります。
- 分針を調整する際は、希望の時刻より 5 分ほど進め、その後合わせたい時刻に戻してください。
- 3- リュースをポジション N に押し戻してください。

【カレンダー設定】

- 1- リュースをポジション 1 に引き出します。
 - 2- リュースを回して日付を合わせます。
- 午後 9 時から午前 1 時の間に日付を変更しないでください。
 - 3- リュースをポジション N に押し戻してください。
- 参考: 午前と午後を誤って調整している場合、昼間に日付が変わります。その場合時計を 12 時間進めてください。

【アラーム機能の使い方】

12 時間先までの設定した時間に 1 回だけアラームを鳴らすことができます。アラーム時刻は 1 分単位で調整することが可能です。

■アラーム時刻設定の仕方

- アラームを使う前に、アラーム針が現在時刻にあっていないか確認してください。
- アラーム針が現在時刻にあっていない場合、“ワールドタイム針、アラーム針および都市針の位置調整”の手順に従ってアラーム針を現時刻に合わせてください。
- 1- リュースをポジション 1 に引き出します。
 - 2- ボタン B を押し、アラーム針を希望のアラーム時刻に調整します。
- このアラームは現在の時刻より 12 時間以上先の時刻に設定することはできません。ボタン B を長押ししてアラーム針を早送りしている際に、アラーム針が現在時刻を指すとアラーム針が止まり、アラームは設定されません。この場合、一度ボタン B を離し、再びボタン B を押して希望の時刻にアラーム針を調整してください。
 - 3- リュースをポジション N に押し戻してください。
- アラームは自動的に設定されます。
- 参考: リュースが通常位置にあるとき、アラームが設定されていない場合アラーム針は現在時刻を指し、アラームが設定されている場合アラーム針は設定した時刻を指します。

■アラームの止め方

設定した時刻にアラームは 20 秒間鳴り、止まると自動的にアラームの設定は解除されます。

手で止める場合はボタン A またはボタン B を押してください。

参考：アラームが鳴っている際は、ボタン A またはボタン B を押してもワールドタイム針は動きません。

■設定したアラーム時刻を解除する

1-リユーズをポジション 1 に引き出します。

2-ボタン B を押してアラーム針が現在時刻を指して止まるまで動かします。

- アラーム針はボタン B を長押しすることで早送りできます。

3-リユーズをポジション N に押し戻します。

■アラーム音の試聴方法

1-リユーズをポジション 1 に引き出します。

2-ボタン A を 2 秒以上押し続けます。

- ボタン A を押し続けている間、アラーム音を試聴できます。

3-リユーズをポジション N に押し戻してください。

【ワールドタイム機能の使い方】

- ・世界 24 のタイムゾーンを表示できます。
- ・ワールドタイムの小時計は 24 時間制で表示されています。
- ・表示したい都市がサマータイムを導入している場合、時計回りに 1 つ隣の都市を選択することで 1 時間の時刻のずれを埋めることができます。

■ワールドタイム機能の使い方

都市針が時刻を知りたい都市を指すまでボタン A またはボタン B を押します。

- ・ボタン A を押して都市を選択します。(都市針は時計回りに動きます。)
- ・ボタン B を押して都市を選択します。(都市針は反時計回りに動きます。)

【電池の消耗を知らせる機能】

電池の電圧が低下すると秒針が通常の 1 秒運針から、2 秒運針に変わります。その場合できるだけ早く電池の交換を行ってください。

- 秒針が 2 秒運針になっても時刻精度は変わりません。

【システムリセット】

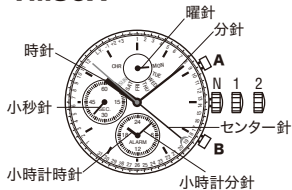
表示に異常が見られる場合、内蔵 IC をリセットします。

1-リユーズをポジション 2 に引き出します。

2-ボタン A とボタン B を同時に 2 秒以上押します。

3-リユーズをポジション N に押し戻します。

YM86A



●3 針

- バーベチュアルカレンダー
- クロノグラフ
- アラーム機能
- ストップウォッチ機能

ムーブメント：
S. エプソン YM86
クォーツ
バッテリー：
SR927W

【リユーズとボタンの操作】

	モード	リユーズ位置		
		N : ポジション N	1 : ポジション 1	2 : ポジション 2
リユーズ	--	--	--	時刻調整
ボタン A	カレンダー	日付 → 月 → 年 ↑	カレンダーの設定 (5 秒以上長押し)	[*1]
	アラーム	音の確認 (2 秒以上長押し)	--	
	クロノグラフ	ストップウォッチ スタート / ストップ	--	
ボタン B	カレンダー	モード切替	カレンダーの設定	[*1]
	アラーム	モード切替	アラーム時刻 の設定	
	クロノグラフ	モード切替 ストップウォッチ リセット スプリット スプリット解除	--	

【1】 小時計針、センター針および曜針の位置調整

小時計針が現在時刻にあっていない場合、またはセンター針と曜針が“0”の位置にない場合、下記の手順に従って調整してください。

(1) リューズをポジション 2 に引き出します。

- ストップウォッチ計測中にリューズをポジション 2 に引き出すと、自動的に計測がリセットされます。
- アラーム時刻を設定した状態で、リューズをポジション 2 に引き出すと、小時計針が現在時刻を指します。

(2) 小時計針の設定

ボタン A を 5 秒間押します。

- 小時計針が 1 周分回り、正しい位置にセットすることができるようになります。

ボタン B を押して “0” の位置に合わせます。

(3) センター針の設定

ボタン A を押します。

- カレンダー針が 1 周回り、正しい位置にセットすることができるようになります。

ボタン B を押して “0” の位置に合わせます。

(4) 曜針の設定

ボタン A を押します

- 曜針が 1 周回り、正しい位置にセットできるようになります。
- ボタン B を押して月曜日の位置に合わせます。

必要な場合、ここでボタン A を 2 秒間押すとこれらの手順をやり直すことができます。

(5) リューズをポジション N に押し戻します。

参考: 針を調整する際に、ボタン B を長押しすることで針を早送りすることができます。

- ☒ ストップウォッチとアラームを正確に使用するために、小時計針と小時計分針を“0”の位置に合わせます。
- ・ センター針のストップウォッチ計測を表示する側を“0”の位置に合わせます。

【時刻設定】

1-小時計針が 12 時の位置を指しているときにリューズをポジション 2 に引き出します。

- ストップウォッチで計測中にリューズをポジション 2 に引き出すと、自動的に計測がリセットされ針が “0” の位置を指します。
- アラーム時刻設定をした状態で、リューズをポジション 2 に引き出すと、小時計針が現在時刻を指します。

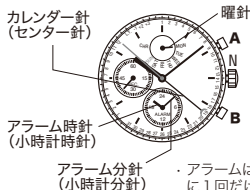
2-リューズを回して時計針と分針を合わせます。

- 分針を合わせるときは希望の時刻より 5 分進め、その後合わせたい時刻に戻してください。

3-ボタン B を押して小時計針と小時計分針を合わせます。

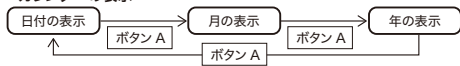
4-リューズをポジション N に押し戻します。

【バーベチュアルカレンダーとアラーム機能の使い方】



- ・ カレンダー針は日付、月、年を指し示します。
- ・ 曜針は曜日を示し示します。
- ・ 年はうるう年と、うるう年からの経過年数を指し示します。
- ・ 2100 年 2 月 28 日までカレンダーの調整をする必要はありません。
- ・ アラームは 24 時間先までの設定した時間に 1 回だけアラームを鳴らすことができます。
- ・ ストップウォッチにモード切替を行うと、シングルタイムアラームはリセットされます。

■ カレンダーの表示



参考: 月と年を表示した後に約 10 秒ボタンが押されない場合、カレンダー針は自動的に日付を指し示します。

■ カレンダーの合わせ方

(1) リューズをポジション 1 に引き出します。

(2) モードを切り替えます。

ボタン A を 5 秒間押します。

- カレンダー針が 1 周回り、正しい位置にセットできるようになります。

(3) 日付を設定します。

ボタン B を押して日付を設定します。

(4) 曜日を設定します。

ボタン A を押します。ボタン B を押して曜日を設定します。

(5) 月を設定します。

ボタン A を押します。ボタン B を押して月を設定します。

(6) 年を設定します。

ボタン A を押します。ボタン B を押して年を設定します。

必要な場合、ここでボタン A を 2 秒間押すとこれらの手順をやり直すことができます。

(7) リューズをポジション N に押し戻します。

■アラーム時刻設定の仕方

- 1-リュースポジション 1 に引き出します。
- 2-ボタン B を押して希望のアラーム時刻にアラーム針を設定します。
- 3-リュースをポジション N に押し戻します。

■アラームの止め方

設定した時刻にアラームは 20 秒間鳴り、止まると自動的にアラームの設定は解除されます。

手で止める場合はボタン A またはボタン B を押してください。

■設定したアラーム時刻を解除する

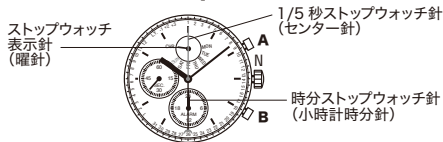
アラーム針が現時刻を指して止まるまでボタン B を押し続けます。

■アラーム音の試験方法

ボタン A を 2 秒以上押します。

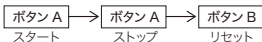
- ボタン A を押し続けている間、アラーム音を試験できます。

【ストップウォッチ機能の使い方】

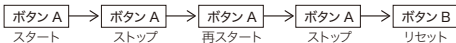


- ・ストップウォッチは 1/5 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 80 まで計測可能です。
- ・計測時間が 24 時間に到達すると、自動的に計測が停止します。

■通常の計測

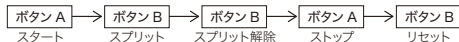


■計測時間の積算



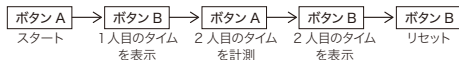
ボタン A を押すことで再スタートとストップを繰り返すことができます。

■スプリットタイム(途中経過)の計測



ボタン B を押すことでスプリットとスプリット解除を繰り返すことができます。

■2人のタイムを計測



- ・ストップウォッチ 1/5 秒針は 24 時間の計測が可能です。(60 秒 × 1440 回)
- ・ストップウォッチ分針は 24 時間の計測が可能です。(60 分 × 24 回)
- ・ストップウォッチを利用する前に、リュースがポジション N にあること、およびストップウォッチ針がリセットされ "0" の位置にあることを確認してください。
- リセットを行ってもストップウォッチ針が "0" の位置に戻らない場合、"小時計針、センター針および曜針位置の確認" の手順に従って調整してください。

【電池の消耗を知らせる機能】

電池の電圧が低下すると秒針が通常の 1 秒運針から、2 秒運針に変わります。その場合できるだけ早く電池の交換を行ってください。

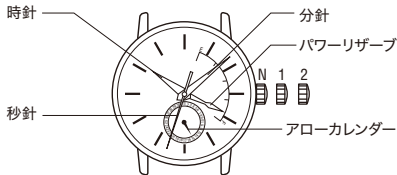
- 秒針が 2 秒運針になっても時刻精度は変わりません。
- 2 秒運針中はアラーム機能を使うことができません。

【システムリセット】

表示に異常が見られる場合、内蔵 IC をリセットします。

- 1-リュースをポジション 2 に引き出します。
- 2-ボタン A とボタン B を同時に 2 秒以上押します。
- 3-リュースをポジション N に押し戻します。

NE57



- 3針
 - アローカレンダー
 - パワーリザーブ
- ムーブメント：SEIKO NE57
自動巻きムーブメント
パワーリザーブ：40h

【時刻設定】

- 1-リューズロックを左回転させ解除します。※リューズロックが付属しているモデルのみ対象です。
 - 2-リューズをポジション 2 まで引き出します。
 - 3-リューズを時計回りに回転させ AM/PM をカレンダーでチェックしながら時間を合わせます。
 - 4-リューズをポジション N まで戻します。
 - 5-リューズを優しく押しながら回転させロックします。
- ① リューズロックが、しっかりされないと防水機能が損なわれます
※ポジション 2 でハック機能もございます。

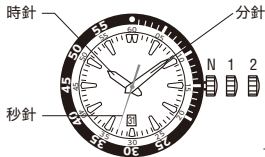
【カレンダー設定】

- 1-リューズロックを左回転させ解除します。※リューズロックが付属しているモデルのみ対象です。
 - 2-ポジション 1 まで引き出します。
 - 3-左回りに回転させお好みの日付にセットします。
 - 4-リューズをポジション N まで戻します。
 - 5-リューズを優しく押しながら回転させロックします。
- ① リューズロックが、しっかりされないと防水機能が損なわれます。
② PM9:00-AM2:00 の間でのカレンダーセットアップは、絶対に行わないでください。カレンダーの歯車が壊れる可能性がございます。

【ゼンマイの巻き上げ】

- 1) 手巻きでの巻き上げも可能です。
- 2) 時計回りに巻き上げていただきます。
- 3) パワーリザーブが 40 時間の位置まで巻き上げてご使用ください。

NH35A



- 3針
- カレンダー表示
- カレンダー早送り機能
- 21 ルビー石
- 21,600 振動
- 日差：-10 ~ +30 秒
- ハック機能

ムーブメント：SEIKO NH35A
自動巻き
パワーリザーブ：40h

【時刻設定】

- 1-リューズロックを左回転させ解除します。※ねじ込み式のみ
- 2-ポジション 2 まで引き出します。
- 3-時計回りに回転させ時間を合わせます。
- 4-ポジション N まで戻します。
- 5-優しく押しながら回転させロックします。※ねじ込み式のみ

【カレンダー設定】

- 1-リューズロックを左回転させ解除します。※ねじ込み式のみ
 - 2-ポジション 1 まで引き出します。
 - 3-左回りに回転させお好みの日付にセットします。
 - 4-リューズをポジション N まで戻します。
 - 5-リューズを優しく押しながら回転させロックします。※ねじ込み式のみ
- ① カレンダー早送り機能は PM9:00 ~ AM4:00 の間には、絶対に行わないでください。故障の原因になったり、正しくカレンダーが機能しない場合がございます。
② 防水性を高めるねじ込み式のモデルは、ねじ込みがしっかりされないと防水機能が損なわれます。

NH38



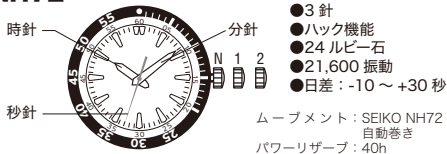
【時刻設定】

- 1-リユーズをポジション1まで引き出します。
- 2-時計回りに回転させてお好みの時間にセットします。
- 3-リユーズをポジションNまで戻し完了です。

【手巻き上げ機能】

- 1-ポジションNで、そのまま時計回りに回します。
- 2-数回巻き上げてからご使用ください。
- 3-ご使用中に巻き上がりますが、稼働時間は約41時間です。

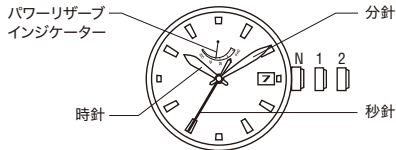
NH72



【時刻設定】

- 1-リユーズロックを左回転させ解除します。※ねじ込み式のみの対象です。
 - 2-ポジション2まで引き出します。
 - 3-時計回りに回転させ時間を合わせます。
 - 4-ポジションNまで戻します。
 - 5-優しく押しながら回転させロックします。※ねじ込み式のみの対象です。
- ① 防水性を高めるねじ込み式のモデルは、ねじ込みがしっかりされない
と防水機能が損なわれます。

YN84/85 YN84GAZ/85GAZ YN85ENRGIA



【時刻設定】

- 1-リユーズロックを左回転させ解除します。※リユーズロックが付属しているモデルのみ対象です。
 - 2-リユーズをポジション2まで引き出します。
 - 3-リユーズを時計回りに回転させ時間を合わせます。
 - 4-リユーズをポジションNまで戻します。
 - 5-リユーズを優しく押しながら回転させロックします。
- ① リユーズロックが、しっかりされないと防水機能が損なわれます。
※ポジション2でハック機能もございませぬ。

【カレンダー設定】

- 1-リユーズロックを左回転させ解除します。
- 2-ポジション1まで引き出します。
- 3-左回りに回転させお好みの日付にセットします。
- 4-リユーズをポジションNまで戻します。
- 5-リユーズを優しく押しながら回転させロックします。

【パワーリザーブ】

パワーリザーブインジケーターは、トルク残量を表示させる機能です。
こちらのモデルは、フルの状態でも40時間稼働するモデルとなっています。

YN55



- 3針
- カレンダー表示
- ハック機能

ムーブメント：S. エプソン YN55A
自動巻き
パワーリザーブ：40h

【時刻設定】

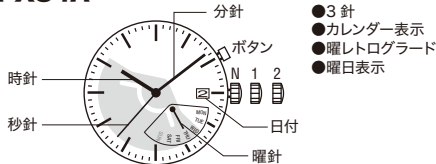
- 1-リュースロックを左回転させ解除します。※ねじ込み式のみ
- 2-ポジション2まで引き出します。
- 3-時計回りに回転させ時間を合わせます。
- 4-ポジションNまで戻します。
- 5-優しく押しながら回転させロックします。※ねじ込み式のみ

【カレンダー設定】

- 1-リュースロックを左回転させ解除します。※ねじ込み式のみ
- 2-ポジション1まで引き出します。
- 3-左回りに回転させお好みの日付にセットします。
- 4-リュースをポジションNまで戻します。
- 5-リュースを優しく押しながら回転させロックします。※ねじ込み式のみ

- ① カレンダー早送り機能はPM9:00～AM4:00の間には、絶対に使用しないでください。故障の原因になったり、正しくカレンダーが機能しない場合がございます。
- ② 防水性を高めるねじ込み式のモデルは、ねじ込みがしっかりされない
と防水機能が損なわれます。

PX84A



- 3針
- カレンダー表示
- 曜日ロゴガード
- 曜日表示

ムーブメント：S. エプソン PX84 ハイブリッドムーブメント
ハイブリッドオートマチック
※自動巻きの動力でチャージしますので、電池交換の必要はございません。

【リュースとボタンの操作】

	リュース位置		
	N：ポジションN	1：ポジション1	2：ポジション2
リュース	--	日付修正/曜修正	時刻合わせ
ボタン	パワーストレージインジケーター		--

【時刻設定】

- 1-秒針が12時位置のとき、リュースをポジション2まで引き出します。
- 2-リュースを回して時分針を合わせる。
午前/午後を間違えないように合わせてください。
- 時刻を合わせるときは、合わせたい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせてください。
- 3-リュースをポジションNまで戻します。

【カレンダー設定】

- 1-リュースをポジション1まで引き出します。
- 2-リュースを回して日付と曜日を合わせる。
- 午後9時から午前4時の間に日付合わせと曜日合わせをしないでください。
- 曜針は曜表示の最後の曜日からリュースを回すと、曜表示の最初の曜日にジャンプします。(曜日ロゴガード表示)
- 3-リュースをポジションNまで戻します。
ヒント：日付や曜日が昼間に切り替わる場合は、午前/午後が間違っていますので、時針を12時間進めてください。

【ハイブリッドオートマチック時計の特徴】

この時計は自動巻発電システムを搭載したアナログクォーツ時計です。腕の動きを利用してアナログクォーツ時計の駆動に必要な電気エネルギーを生み出し充電します。従来のクォーツ時計と異なり、酸化銀電池を使っておらず電池交換が不要です。

■駆動時間

フル充電から約6ヶ月動作します。

■即スタート機能

充電切れの状態が長時間続いても、時計を数回素早く振るだけで動作を開始することができます。この機能は充電切れの状態が1年以上内であれば有効です。

■過充電防止機能

所定の電圧以上に充電された場合、過充電防止機能がバッテリーの劣化や破損を防止します。

そのためフル充電状態からさらに充電されても不具合は発生しません。

■充電切れ予告機能

秒針が2秒間隔で運針している場合は、時計が約24時間以内に止まる可能性があります。

その際は時計を十分振って充電して下さい。

【時計を使い始める】

1ー時計を左右に振ると、即スタート機能により時計が運針を開始します。

- 1秒間に2回の割合でリズムカルに振って下さい。

2ー秒針が通常運針になるまで時計を振って下さい。

- 1年以上充電切れの場合、秒針がすぐに通常運針にならない可能性がありますので、1秒運針になるまで時計を振って下さい。

3ー時刻、日付と曜日を合わせて下さい。

【充電する】

- 効率よく充電するためには、約20cmの円弧状に時計を左右に振って下さい。素早く振っても充電への効果はあまりありません。
- 時計を振っていると音がすることがありますが、これは自動巻発電システムが発電する際の振動音であり、異常ではありません。
- 使い始めからフル充電にする必要はなく、腕に着用すれば自動的に充電されます。時計を腕に着用していても、腕が動いていなければ充電はされません。
- 動作に必要なエネルギーを十分貯めるためには、1日最低10時間は腕に着用することをおすすめします。

【充電量の目安】



1ー時計が充電切れの場合、もしくは2秒運針になっている場合は、時計を1秒に2回のリズムで左右に振って下さい。

2ー約250回振ると1日分の動作に必要な充電ができ、秒針が1秒間隔で運針します。

- 使い始めは、2日分の充電ができるまで手振り充電することをおすすめします。1日分さらさら200~250回の手振りを追加、合計450~500回振ることから2日分を充電することができます。

【パワーストレージインジケーター】

この時計はボタンを押すことで秒針が早送りし、充電量をお知らせします。4段階の表示で充電残量の目安を知ることができます。

1ー秒針がボタンを押したときの位置から早送りします。ボタンは秒針が0秒位置で押してください。

2ー残量が表示されたあと、一定時間で秒針は通常運針に戻り時刻を表示します。

3ー秒針が2秒運針の場合は、ボタンを押しても残量表示されません。約24時間以内に止まる恐れがあるため、早めに時計を充電してください。(充電量警告表示機能)

	5秒	10秒	20秒	30秒
秒針早送り				
充電残量	1日以上	7日以上	約1ヶ月以上	約6ヶ月

【シースルーバックモデル】

時計の裏蓋がガラスの場合、裏蓋を直射日光や至近距離の電灯など強い光にさらさないでください。強い光によって電子回路の消費電流が一時的に上昇し、充電量が減少します。

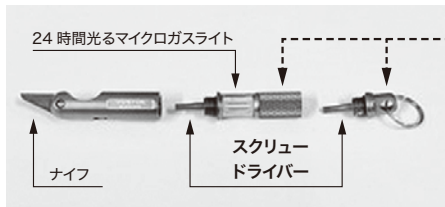
もし強い光で一時的に消費電流が上昇しても、裏蓋への照光をやめれば消費電流は元に戻ります。

【バッテリーの注意点】

- 一般的なクォーツ時計で使われている酸化銀電池をバッテリーの代わりに組み込むのは絶対にお止めください。電池の破裂、発熱や発火の恐れがあります。

VOSTOK EUROPE スクリュードライバー付きマルチツール

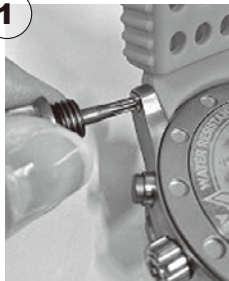
■ スクリュードライバー使用方法



●マルチツールのこちらの部分を回すと
スクリュードライバーがでできます。

- ①ベルトのネジの穴にスクリュードライバーの先端をはめます。
 - ②スクリュードライバーを2本使って両側から先端を使って回してください。
- ❗ 持ち手の端で回すとネジを傷つける恐れがあります。必ずスクリュードライバーは先端側を握りながら回してください。

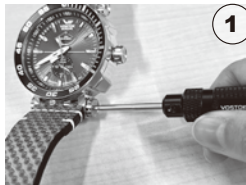
1



2



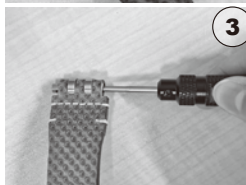
■六角ドライバーの使用方法



- 1 六角ドライバーをネジ穴に入れ、両方のネジを外します。



- 2 ネジが外れると、ストラップが時計本体から外れます。



- 3 中央に入っているスクリューピンを押し出します。

※ENERGIA シリーズの場合：中央に付いている丸いパーツも外します。

- 4 交換ストラップに、スクリューピンを取り付け、時計本体に装着します。ネジにはゴムパッキンが付いているので、1つのドライバーでネジをロックすることが出来ます。

- 片方のネジが上手く外れない場合は、右下の画像のように、反対側のネジを外したところから押してあげます。ネジがスクリューピンと一緒に外れます。
- ネジに付いているゴムパッキンが摩耗した場合や、ネジ穴がつぶれた場合はネジの交換が必要です。

